

1. 出向く営農指導体制の確立と、営農指導員の育成をおこないます

これまで以上に農家組合員の生産現場に出向き、農業生産の支援を行う「出向く営農指導体制」の確立を目指します。本年度はJA静岡経済連のコンサルタントを講師に営農担当者のスキルアップ講習会を行い、農家組合員に適切なアドバイスができる人材育成を行います。

▶ 農家組合員に適切なアドバイスができる職員
の育成を行います。



2. プライベート商品の開発を行います

富士宮産農産物のPRと農業者所得向上を目的に、富士宮産農産物を使ったプライベート商品の開発を行います。また従来からのプライベート商品「う宮茶」のパッケージを、市内高等学校生徒のデザインで一新し、市民の皆様へのよりいっそうの普及を目指します。



▶ 市内高校生と連携し
う宮茶のパッケージを一新
平成29年度中に新パッケージが登場します。

3. 落花生加工施設の本格稼働を行います

平成28年10月に完成した、営農経済センター西側の落花生加工施設を本年度より本格稼働します。茹で落花生の冷凍食品化を確立し、地域の食文化を全国に発信することで、富士宮産落花生のブランディングと、農業者の所得向上を目指します。

▶ 完成した落花生加工施設



4. 農商工学連携をすすめます

富岳館高校と農学連携事業を本格化します。同校生物生命系列の生徒6名と落花生の栽培から、新商品の開発を一貫して行います。農協が授業を支援すると共に、生徒からも新商品のアイデアをもらうなど、協調して地域農産物のブランディングを図ります。また、富士宮商工会議所青年部と当農協青壮年部との連携を深め、異業種交流の中から地域産業の活性化を図ります。



◀ 富岳館高校生徒による落花生の播種